

## 主の平和

新型コロナウイルス感染症拡大で、東京教区菊地大司教からの指示により2月27日よりミサの公開が中止となり、3ヶ月目に入りました。私たちにとっては大切な復活祭を信者みなさんで迎え、お祝いすることができませんでした。

ルカ神父様は早く信者のみな様とともにミサを行いたいというお気持ちをずっとお持ちですが、今はぐっところえるしかないと、私たち教会委員にも指示をされています。現在は神父様とメルセス会のシスターが主日のミサを行われています。聖週間の間は聖体顕示、枝の設置、ゆるしの秘跡を行っていただきました。

このような中で「教会から離れていても心と思いを合わせてお祈りできるように」と、3月29日と5月10日付で信者各位へ、フランシスコ教皇、菊地大司教、ルカ神父様からの手紙等を送らせていただきました。

また、5月16日に予定し、準備していた「教会創立50周年記念」ミサと祝賀会は、コロナウイルスの終息が見える、しかるべきときまで延期することにいたしました。

そこで、5月16日（土）10時より、「さつきの后聖マリア」の記念ミサならびに「教会創立50周年記念ミサ」をルカ神父様司式により、メルセス会の3名のシスター、創立50周年記念プロジェクトの2名、教会委員会の2名、教会ホームページ1名、各氏が列席し、厳かに行うことができました。この祈りにさずかれない信徒のみな様方に申し訳ない気持ちですが、神に感謝を捧げ、一日も早い終息に向けてお祈りをさせていただきました。ありがとうございました。

高幡教会 教会委員長 ヨゼフ 松永義希